特定非営利活動法人

チャレンジ企業支援隊　会報

Global Management Supporting Partners (GMS)

会報Ｖｏｌ．１５
平成 24 年 9 月 27 日
発行：理事長　山崎健一郎
ＴＥＬ＆ＦＡＸ　0742-41-7839
編集（広報担当）：副理事長　馬塲英彦
ＴＥＬ＆ＦＡＸ　0743-75-1685
Ｅ－Ｍａｉｌ　bamba@m4.kcn.ne.j

巻　頭　言

（副理事長　マーケティング部会長　馬塲英彦）



チャレンジ企業支援隊（ＧＭＳ）も皆様の熱きご支援に支えられ、９年目を迎えています。

ロンドン五輪で日本はメダル最多の記録更新に沸いたのも束の間、今や東日本大震災後、早や１年半を経過しました。

日本の政変や竹島・尖閣・北方領土など、周辺諸国からの脅威など、待ったなしの危機対応が迫られている時代は近年にはない状況です。

家電業界をはじめ、日本経済も混迷を極め、若者の就職率の低下、７・５・３現象、ニート６０万人、そして起業の「老高・若低」と言われる昨今であります。

我々はＧＭＳという場を《プラットホーム》にし、意欲に燃えた企業ＯＢ・シニアのスペシャリストが中核となって、就活に挑むデザイン学生など意欲的な若者を巻き込みながら、新規創業の中小企業への応援を実践しています。

また日本の地域社会でのニーズに着目した活動を「ソーシャルビジネスへのチャンス」と捕らえ、ＮＰＯ法人や障害者施設でのビジネスノウハウの支援をして来ました。

さらに、日本のモノづくりでは、創業理念を原点としコア技術を「柱」とし、時代の変化への対応には、経営トップ・次世代経営者のあり方にせまる支援活動を続けています。

どうか本誌を読まれた皆様には、若者・高齢者であれ、企業人・顧客・生活者であれ、**地域社会を何とかよき方向に変えたいと願う方々は、ＧＭＳと言う開かれた《プラットホーム》に気軽に降り立って、ここから地域社会に向けた一歩を踏み出して頂きたいと考えております。**

引き続きのご支援とご鞭撻をお願い致します。

第１０回 年次総会を開催

（理事　宮地保富）

平成２４年度の年次総会は、去る５月１７日に、大阪府門真市にある松心会館で開催された。定刻の午後６時、司会の中尾理事から定款２７条に基づき、総会が成立する旨の報告があり、議長に山崎理事長が選出された。

次に、議長から第１０回総会の開会宣言があった後、議事録署名人として、馬塲副理事長と南部理事の２名が選出され議事に入った。

第１号議案：第９期の事業報告および事業会計収支決算の承認ならびに監査報告の件

会計担当の宮地理事から平成２３年度の事業報告、会計財産目録、貸借対照表、収支計算書について報告あった。次に小島監事から監査報告があり、採決があり承認された。

第２号議案：第１０期事業計画および事業会計収支予算の承認の件

続いて、宮地理事から山崎理事長が示された平成２４年度の重点事業５項目の具体的な活動計画および会計収支予算について趣旨説明があり、採決があり承認された。すべての議案が議決され６時２５分第１０回総会を閉会した。



総会終了後、会場を「鶴の間」に移し、チャレンジ企業支援隊の会員による懇親・交流会を行なった。

日頃の活動は、各部会単位とか、一部の関係者同士の交流となっており、チャレンジ企業支援隊の会員全体での懇親会は、過去、あまり実施されていなかった。そのようなこともあり、今回の懇親会は非常に盛り上がり、美味しい料理を食べながら、お互

いの情報交換が行われ、時間を忘れ、笑顔が耐えない懇親会となった。

最後に、馬場副理事長の発声で、平成２４年度のチャレンジ企業支援隊のさらなる飛躍を祈念し中締めを行い、９時に終宴した。

第２３回ＧＭＳ経営勉強交流塾の開催

（理事　モノづくり部会部会長　阪本徳男）

第 23 回ＧＭＳ経営勉強交流塾を 2012 年 7 月 3 日に株式会社タカトリ様で実施した。

㈱タカトリ様は繊維機械の製造、販売の企業として 1956 年設立され 1968 年のﾊﾟﾝﾃｨｽﾄｯｷﾝｸﾞﾂﾏ先自動縫製機の開発、販売を皮切りに創業者の高鳥王昌会長の哲学**「世界にない、新しいものづくり」**の方針の下に相次ぐ独自技術の開発で発展を続けられ、液晶機器事業、半導体機器事業、MWS（ﾏﾙﾁﾜｲﾔｰｿｰ）事業、繊維機器事業を自社保有技術で事業を拡大されている企業で、2012 年 2 月には**「ものづくり日本大賞」特別賞**を受賞されている。

参加者はⅠ部の勉強交流会が 9 企業様の 13 名、GMS9 名の合計 22 名、Ⅱ部の懇親交流会は 14 名、ﾀｶﾄﾘ様 2 名の合計 16 名と盛大に開催出来た。

当日の勉強交流会のﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑは、㈱ﾀｶﾄﾘ様の福光課長より、**「当社の経営の考え方と技術革新について 」**と題した会社紹介で、現在の主力商品のﾏﾙﾁﾜｰﾔｰｿｰ(ｲﾝｺﾞｯﾄをｽﾗｲｽしてｳｪﾊｰと呼ばれる基板を作る切断加工機)で、ｻﾌｧｲｱ・ｼﾘｺﾝｶｰﾊﾞｲﾄ・ｶﾞﾘｳﾑﾅｲﾄﾗｲﾄﾞの切断加工では圧倒的な世界ｼｪｱ、産学官連携、社会貢献にも積極的に参画しているとのご紹介があった。

工場見学のｽﾗｲｼﾝｸﾞﾗﾎﾞ　（ﾏﾙﾁﾜｰﾔｰｿｰ 工場）では見学者対応が周知されており、機械の特別稼働を実施して頂き、ｼｮｰﾙｰﾑ視察では発明の原点「吉野葛粉砕機」の実機との対面と、年表・機器で「創造と開拓」の精神で未知なる分野への挑戦の勉強をさせて頂いた。



ショールームでの記念写真

質疑応答では安全十則、技術、商品戦略のｺﾂ、事業構造の変化、産学官連携のｺﾂは積極的な応答がなされ、出席者全員が「世界にない、新しいモノづくり」 を貫く独自の技術経営に学ぶことができた。

ｱﾝｹｰﾄでも日本のモノづくりを関西で守る気概、競争的資金獲得への積極的な取り組み、創業理念を原点としｺｱ技術を「柱」とした取り組み、時代の変化への対応を実現、会社を動かすｷｯｶｹはやはり、経営者（ﾄｯﾌﾟ）であり、それについて行く全社的な対応が必要だと思いました等のご意見を頂いた。

また次回交流塾のﾃｰﾏ希望としては今回の様に工場見学＆取組み事例の紹介が 13 社中 12 社と圧倒的な要望でした。

今後も、チャレンジ企業支援隊は、企業様一社では困難な会社見学を「ＧＭＳ経営勉強交流塾」を通じて、お互いにﾋﾝﾄや元気を得て頂くことを目的として進めていきたいと思う。

皆様の次回「ＧＭＳ経営勉強交流塾」への参加をお待ちしています。

マーケティング部会の活動報告

（理事　マーケティング副部会長　辻谷禎弘）

当部会は、本年１月１２日(木)に第 88 回の部会を大阪市立デザイン教育研究所会議室で開催、その後毎月定例部会を開いている。上半期は、炎々猛暑とロンドン五輪に沸く８月末まで、馬場部会長のリーダーシップのもと毎回１０～１６名が参加し、様々な議題を取り上げ、ゲストを招き、真剣な研究討議を重ねてきた。以下に第 88 回～96 回（1～９月）までの主な取り組み活動を紹介する。



マーケティング部会の様子

各回の主な議題内容

部会の進行は、最初に出席者の自己紹介や近況活動報告を行い、**その日の担当講師が課題について発表している。**

その後、**発表内容に関してみんなで討議し合う中で話題が広がり、各人が有益な情報やヒントを吸収している。**

各回の主な内容と講師（敬称略）を紹介する。

88 回　㈱あずやん、事業内容のプレゼンと販促チラシデザインの依頼　＜東　正幸＞

89 回　KramDesign 、コンサルデザインの提案と
主な仕事内容や作品紹介　＜酒井　麗＞

90 回　㈱岡崎紙工、カタログ美人研究会による
販促企画・印刷加工一貫受注　＜岡崎正輝＞

91 回　㈱京都栄養化学研究所、抹茶入ケール青汁
販路開発・販促企画のご相談　＜天鷲英哉＞

92 回　㈱オーブレイン、大学生・若者の就職状況
現況解説と人材育成支援提案＜岡田佳久＞

93 回　㈱あずやん、幕張 Jpan IT Week 取材報告と
販促チラシ完成案内　＜東　正幸＞

94 回　K 社のための人材育成支援活動　実践報告
「次代を担う人材育成社長塾」＜吉川猛雄＞

95 回　奈良県「新しい公共支援事業」の取り組みと
実践セミナー経過報告　＜谷　巖夫＞
あとりえじじのペーパークラフト作品と私の
デザイン発想方法　＜辻谷禎弘＞

96 回　㈱サピエンティア、デジタルサイネージの
販路開発・代理店募集　＜中川肇・東島梓＞

ＨＲＭ部会の今後の取組みについての考察

（理事　ＨＲＭ部会長　岡田　佳久）



この度、中尾部会長に代わり、ＨＲＭ部会長に就任致しました岡田佳久です。新しいＨＲＭ部会を構築し、新たな形で社会に貢献していきたいと考えております。皆様にはこれまでと変わらぬご理解、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

現在、「働いて収入を得て生活をしていく」といった当たり前のことが難しい時代になっています。

例えば、大学生の就職状況です。就職環境は厳しい状況に変わりはありませんが、今春、卒業した大学生のうち、約６％にあたる約３万 3 千人が進学や就職に関する準備をしていない、いわゆる「ニート」になっている可能性が高いという報道がありました。そして、無事、就職することができても、入社後 3 年以内に３０％～４０％が退職してしまう早期離職の問題も定着化？しつつあります。

若年者の雇用問題だけでなく、中高年も雇用問題に直面しています。グローバル化や円高による企業の海外進出は、今や大手企業だけでなく中小企業においても数多く行われており、国内の雇用が奪われる形になっています。大手企業においても大量の人員削減を行う内容の報道が頻繁に行われています。

中小企業の社長様と会話をしていても、必ずと言っていいほど人材に関する話題が出てきます。

このように、「働く」、「人材」に関する問題が世代に関係なく、社会問題化しています。

私たちＨＲＭ部会は、個々が生き残りをかけていかなければならない時代において、少しでも貢献できるように活動していきます。

キャリアに関する知識がない、人事の業務に携わったことがない・・・これまで、ＨＲＭ部会に参加する際に、敷居が高いといったイメージがありました。

しかし、今後は、知識や経験に関係なく少しでも**ＨＲＭ部会の活動に興味を持っていただいた方が、できる範囲内で協力していただける組織を作り、ＨＲＭ部会の仲間を一人でも多く作っていくことが大きな力になると思われます。**

新しい公共支援事業

～ソーシャル・ビジネス分野における中間支援～

（理事　宮地保富）

チャレンジ企業支援隊は、平成２３年度から実施された**「奈良県新しい公共支援事業」のソーシャル・ビジネス分野における中間支援事業を受託し、２年目の平成２４年度の活動を行っている。**

この事業の目的は、ソーシャル・ビジネス分野を担うＮＰＯ等の活動を強化し、継続的に社会的使命（地域社会の課題解決）を果たすことができる団体の育成を目的とするものである。

８月２日・３日に奈良市と橿原市においてセミナーを開催し、支援を申請された団体の面談を行い１０団体を選定した。８月２２日に支援団体への集合研修を行い、９月から各団体への個別訪問支援を行っている。



支援団体様に対する集合研修

支援先１０団体が取り組まれている事業を分類すると、障がい者就労支援６、まちおこし支援３、生活環境支援１となる。今年度の特徴は、障がい者の方達が作るお菓子、パン等の販売増による事業拡大支援が多いことである、さらに、まちおこしのための支援が３団体あり、新

しい公共支援事業の主旨に沿った活動となっている。

チャレンジ企業支援隊として主担当３人が中心となり対応しているが、１０団体すべてがボランティア精神をベースに非常に真面目に取り組まれている姿に感銘を受けていると同時に、私達の支援内容が皆さんから喜ばれていることを励みに感じている。

今後は、引き続き個別訪問支援を行いながら、スキル支援（デジカメ撮影講座・チラシ作成講座）も実施する予定である。

１施設１品づくり促進事業

（理事　南部英治）

チャレンジ企業支援隊は奈良県・健康福祉部が推進する**『障害福祉事業所における工賃向上計画』の一環として昨年度から『1 施設１品づくり促進事業』を支援している。**この事業に奈良県下で3事業所が、各々関連した地元の数事業所とプロジェクトチームを作り、施設での新規事業、商品の開発を進めている。昨年度開発した新規事業、新商品をさらに拡大し、強固にするため今年度は昨年より４カ月早く取り組みを開始し、①売り上げデータ、市場ニーズの分析に基づいた商品改善、②新商品の販売戦略立案、③生産、品質面での管理体制強化　などについて各事業所が独自で推進できるよう支援をしている。



「ＥＭしあわせ市」に並ぶ商品

各事業所の取り組みは以下のとおりである。

1）ラスクを個装にし、奈良のお土産らしい贈呈用・お土産用セットを買いやすい価格で導入を開始し、拡販を目指す。

2）奈良県の世界遺産ポストカードの第 2 弾は事業所スタッフが自ら企画、デザインができるよう指導しながら、事業所関連の店舗、および近隣の神社、仏閣への販売のルート開発、拡大を行う。

3）生ゴミ削減による社会貢献プロジェクトはＥＭボカシが創るきれいな環境づくりを目指して、ＥＭボカシ（有用微生物）の力で生まれる肥料、及びその関連商品を販売する『ＥＭしあわせ市』を季節ごとに開催するなどの拡販方法等を支援する。

チャレンジ企業支援隊 平成２４年活動内容

１月　・会報１４号発行
・「ＧＭＳ新春講演・交流会」開催
講演：「混迷の時代を生き抜くための『選択と集中』」
講師：㈱イーサーブ 代表取締役 鈴木邦氏

２月　企業支援
〇人材育成社長塾を開講（京都）
〇工場における生産性向上（奈良）

３月　・「第２２回ＧＭＳ経営勉強交流塾」開催
テーマ「現場で学ぶ経営哲学と多品種少量生産への対応」
場　所：田中電工㈱　門真工場
企業支援
〇販促資料作成（大阪）

５月　・第 10 回総会開催（於：松心会館・門真市）
・奈良県「１施設１品づくり」事業開始

７月　・「第２３回ＧＭＳ経営勉強交流塾」開催
テーマ「世界にない、新しいモノづくり」を貫く独自の技術経営に学ぶ
場　所：㈱タカトリ（橿原市）
・奈良市ボランテイア・ＮＰＯ団体パネル展に出展
企業支援
〇販路開拓、販売活動　（大阪）

８月　・「新しい公共」実践セミナー
「チャレンジ助っ人隊派遣説明会」開催
・上記支援団体へ集合研修実施
企業支援
〇新商品開発、販売ルート開拓（大阪）

＜平成２４年 部会開催状況・８月まで＞
・モノづくり部会　　：第６０回～第６７回
・マーケティング部会：第８８回～第９５回
（部会には、会員以外の方も参加頂けます。
スケジュールはホームページをご覧ください。）

編集後記

夏の名残りは、まだ日中の暑さに残っているものの、朝晩はめっきり涼しくなり、いよいよ秋の到来である。読書の秋、行楽の秋、食欲の秋等、秋には楽しみが一杯。お互いに好奇心を持って、一日一日を大切に過ごしたいものである。（山崎記）